

令和2年度若年技能者人材育成支援等事業 実施計画

(地域における技能振興事業)

区 分	事 項
1 技能五輪全国大会の予選の実施等	<p>(1) 技能五輪全国大会の予選の実施 大会参加が見込め、予選が必要な2職種について実施する。 実施職種：電気溶接職種、西洋料理職種 参加者：各職種5人 実施時期：電気溶接、西洋料理ともに令和3年2月初旬</p> <p>(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 ① 技能五輪全国大会に中小企業等から参加する選手等の旅費や選手の工具運搬費を助成する。 対象者数(予定)：選手23人、指導者16人 (18職種、19社・校) ② 若年者ものづくり競技大会に参加する選手等の旅費や選手の工具運搬費を助成する。 対象者数(予定)：選手15人、指導者9人 (7職種、7校)</p>
2 ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組み	<p>(1) ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用 ① イベント ア ものづくり体験フェアの開催 ものづくりへの関心を高め、身近に体感できる県民参加型のイベントを開催する。 ・開催時期：11月1日(日) ・入場者数：一般県民4,400人程度 ・製作実演：ものづくりマイスター等19人(19職種) ・作品展示：19ブース ・ものづくり体験コーナー：19コーナー 参加者：小中学生 2,200人 イ 技能五輪全国大会等のメダリストが語る魅力講座 技能五輪全国大会等のメダリストである若年技能者が、高等学校等の若年者を対象に、ものづくりの楽しさ、厳しさ、出場への意気込み等を語ることにより、ものづくり意識の醸成や進路及び職業選択の一助となることを目的に講座を実施する。 実施回数：7回</p>

区 分	事 項
	<p>② 熟練技能者の派遣 ものづくりマイスター、ITマスター以外の熟練技能者を高校等に派遣して、受講者が技能者として必要な技能を習得し、技能の向上を図るための実技指導を行う。 派遣回数：15回 受講者数：180人日 職 種：日本料理、西洋料理、化学分析 等</p> <p>(2) 技能競技大会展の実施 中央センターが開催する技能競技大会展について、センター及び他のコーナーと連携して円滑な運営に協力する。</p> <p>(3) 技能士展の実施 中央センターが開催する技能士展について、センター及び他のコーナーと連携して円滑な運営に協力する。</p> <p>(4) 「地域発！いいもの」応援事業の実施 「地域発！いいもの」応援のため、募集に係る周知、応募書類の受付・チェック、中央センターへの送付などの事務を適切かつ効率的に行う。</p> <p>(5) グッドスキルマーク事業の実施 グッドスキル事業実施のため、募集に係る周知、応募書類の受付・チェック、中央センターへの送付などの事務を適切かつ効率的に行う。</p> <p>(6) 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援 中央センターの紹介コンテンツ編集方針に沿って、令和元年度本県被表彰者の取材を行う等、中央センターに協力する。</p>

(ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務等)

区 分	事 項
1 ものづくりマイスター等の開拓	<p>コーディネーター等による企業・業界団体の訪問により、派遣ニーズを把握し、派遣要請の多い職種（機械加工・電気溶接）や登録の少ない職種（電気機器組立て、機械・プラント製図、菓子製造等）を中心に認定者数の増加を図る。また、生産性・品質向上、人材育成、労働環境改善に向けた助言等ができるマイスターの把握を行うとともに、ものづくり現場の環境変化に対応するため、マイスターをベースにIT技術を活用した生産性・品質向上等の指導ができるテックマイスターの認定登録を行う。</p> <p>さらに、IT マスターの開拓にも努め、職種の拡大と認定者数の増加を図る。</p>

区 分	事 項
	認定者数 ・ものづくりマイスター 10人以上 (テックマイスター含む) ・ITマスター 1人以上
2 ものづくりマイスター等に対する研修	指導技法等講習会の開催 (ITマスター及び再講習を含む。) 認定されたものづくりマイスター及びITマスターに対し、実技指導に関する基礎的知識や手法を伝授するために、指導技法等講習会を開催する。 また過去3年以上活動実績のないマイスターに、引き続き活動する意志について確認し、活動の意志がある場合には、改めて指導技法等講習を行うか、最新版のテキストや事例集の情報提供を行う。 開催回数：3回 (6・8・10・12・2月の内3回)

(ものづくりマイスター等の活用に係る業務)

区 分	事 項
1 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等	個人や企業、学校等から人材育成に関し、相談や派遣要請等があった場合には具体的な内容や指導ニーズ等を把握するため、電話等による詳細な照会やコーディネーター等による訪問を行い、人材育成に係る取組方法、訓練施設・設備等のコーディネート、実技指導等の相談、援助及びものづくりマイスター等の派遣のコーディネート等を積極的に行う。
2 ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施	ものづくりマイスター及びITマスターを中小企業や工業高校等に派遣し、指導要請を踏まえ、技能競技大会の競技課題等を使用して高度な技能を習得するための実技指導を実施する。 ・ものづくりマイスター 派遣回数：500回 (中小企業200回、工業高校等300回) 受講者数：2,500人日 ・ITマスター 派遣回数：10回 受講者数：100人日
3 「目指せマイスター」プロジェクト	(1) 「ものづくりの魅力」発信 ① 「ものづくりの魅力講座」の実施 ものづくりマイスターを学校に派遣し、児童生徒・教師・保護者を対象に、ものづくりに関する理解を深め、関心を喚起するものづくりの講義、ものづくり体験教室を行う。 実施回数：12回 480人日 ② 「事業所等見学交流会」の実施 児童生徒がものづくりマイスターのいる事業所等を訪問し、将来、ものづくりの現場での就業等を実現できるよう、ものづくりの魅力についての講義とマイスターの技能を体感する交流会を開催する。 実施回数：12回 480人日

区 分	事 項
	(2) 「ITの魅力」発信 ITマスターを学校に派遣し、児童生徒の情報技術に関する興味を喚起するとともに、情報技術関連のツールに触れ、IT技術を実体験でき、楽しさに触れる講座を開催する。 実施回数： 7回 140人日
	(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信 サポステからの協力要請があった場合、積極的に実施の検討を行い、可能な限り協力する。 実施回数（予定）：1回
	(4) ものづくりマイスターの働く職場での職場体験実習の実施要請等 学校等からの要請に応じて、該当職場に対し、体験実習の実施を依頼する。 実施回数（予定）：2回

(地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営)

区 分	事 項
1 連携会議の設置	本事業を効果的かつ円滑に実施するため、地方公共団体、経済団体等地域関係者による連携会議を設置し、年2回開催する。 【構成メンバー】(委員数：11名) 山口県商工労働部労働政策課 山口県教育庁高校教育課 山口県教育庁義務教育課 山口労働局職業安定部職業安定課 (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 山口支部 山口新聞 山口支社 山口県経営者協会 山口県中小企業団体中央会 山口県商工会議所連合会 山口県商工会連合会 やまぐち産業振興財団技術振興部
2 連携会議の回数	年2回(6月、12月)

(全国斉一的な事業展開)

区 分	事 項
全国斉一的な事業展開	センターとコーナーが密接に連携し、円滑に全国斉一的な事業展開を図るため、全国会議やブロック会議等に参加し、情報収集、情報交換を積極的に行い、事業展開がよりスムーズに行えるよう業務方針の確認、実務ノウハウの向上・共有等を図る。

(成果目標)

① ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度	90%以上
② ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解し、今後 に生かせるとした受講生の割合	90%以上
③ ものづくりマイスターの授業等への講師派遣を利用した 学校の満足度	90%以上
④ ものづくりマイスターを活用した企業又は業界団体が技 能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機とな った割合	90%以上
⑤ 地域における技能振興事業の参加者の満足度	90%以上